

福井空襲の恐怖

こども

平和新聞

発行者

発行日

9月14日



知覧基地の第105振武隊特攻出撃 昭和20年4月22日戦死18歳
大刀洗陸軍飛行学校少飛第14期生 97式戦闘機(同上記絵)出撃

昭和20年7月19日
空襲が起った日
被害
焼夷弾

空襲が起った日	昭和20年7月19日
被害	84.8%
焼夷弾	9000発

空襲が起った日 昭和20年7月19日
被害 84.8%
焼夷弾 9000発



鯖江市の平和記念館の36連隊の展示

守る為に

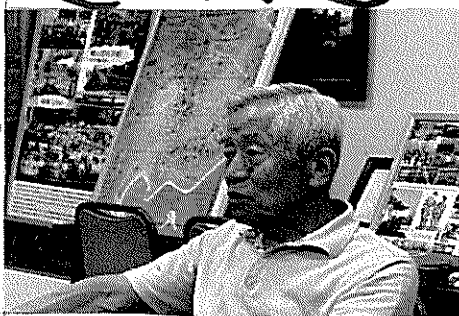
空襲中の恐怖
人々は防空壕に入り、少くも自分や身の周りの人を守り、爆弾や焼夷弾から守る。本帝国軍の連隊の一つ、歩兵36連隊も市民を守る為に戦った。

空襲の被害

福井空襲
で亡くなった方
た方を負った方
がを負った方
方は合計した
で7995人
合計7995人

で亡くなった方	1576人
た方を負った方	1210人
がを負った方	5209人
合計	7995人

遺族連合・大久保さんに聞く



空襲の怖さ、経験した方、現在の日本では戦争はなくなりました。平和に暮らして、いかに平和な生活を送りたいか、空襲や戦争の怖さを語り、世の中の人に伝えることが大切です。

大久保さんは、戦争の経験者で、空襲の怖さを語り、世の中の人に伝えることが大切です。戦争は、人々の命を奪い、家財を焼く、そして、戦争の残骸が残ります。戦争は、人々の命を奪い、家財を焼く、そして、戦争の残骸が残ります。